



2013年
12月

ニュースレター

駐日アフガニスタン
大使館

〒106-0041
東京都港区麻布台2-
2-1
Tel: 03-5574-7611 /
Fax: 03-5574-0195
www.afghanembassyj
p.org

Facebook:
www.facebook.com/
afghanembassyjp

Twitter:
@afgembtokyo

お問い合わせ
ニュースレターに関
しての質問、コメン
ト等のお問い合わせ
は、大使館広報部
ジェイソン・プラッ
トまでご連絡下さ
い。

pratt@afghanembas
syjp.org

内容

ニュース 1-3
大使からの
メッセージ 2

Latest News



カルザイ大統領、世界の象徴である 故ネルソン・マンデラ氏へ哀悼

カルザイ大統領は今月初め、南アフリカ共和国の初の黒人大統領で、反アパルトヘイト活動家のネルソン・マンデラ氏の逝去に対し、「この時代の人間の尊厳、平等、自由の象徴であり、アパルトヘイトに苦しむ黒人の南アフリカ人のためだけでなく、我々人類の尊厳のために身を削って戦ってきた、ネルソン・マンデラ氏が亡くなりました。歴史は彼の存在を忘れることはないでしょう。彼は、それほどに偉大な人物でした。」と述べ、哀悼の意を示した。

カルザイ大統領は、各国の首脳と共に南アフリカ共和国へ渡り、12月10日に開かれた追悼式に参加した。

アフガニスタン政府は、マンデラ氏が強くその保護をすすめてきた、人権や民主主義、平等の理念を以って、自由で平等な

国家の建設を目指していく。

ザラル・アフマド・オスマニ氏を外務大臣に推薦

今月、ザラル・アフマド・オスマニ氏がカルザイ大統領に外務大臣の候補として推薦され、アフガニスタン議会による承認を得るまで外務大臣を代任することとなった。

ザラル・アフマド・オスマニ氏は以前、内務大臣を務めていた。内務省では、彼の指揮のもと、アフガニスタン警察とセキュリティの基盤と方針を強化、改良するだけでなく、Maidan Wardakに高等教育機関を設立するなど、多くの野心的なプロジェクトが敢行されてきた。

ファティミ大使、皇居にて天皇陛下の誕生祝賀会(茶会の儀)に参加

2013年12月23日:ファティミ大使夫妻は、東京の皇居で開催された天皇陛下の誕生祝賀会(茶会の儀)に参加した。この大切な儀式に際して、アフガニスタンの人々や政府の代表として天皇皇后両陛下に直接祝辞を述べ、今後のご健勝をお祈り申し上げたことは、大使にとって大変な名誉であった。両陛下は、アフガニスタンの人々に非常に関心を寄せており、1971年にはアフガニスタンへの表敬訪問もされている。



ファティミ大使、外務大臣主催の天皇陛下誕生祝賀会に出席

2013年12月20日:ファティミ大使夫妻は、外務大臣の岸田文男氏主催の天皇陛下誕生祝賀会に出席し

た。ファティミ大使は、この大切な儀式に際して、アフガニスタンの人々や政府の代表として岸田文男外務大臣に直接祝辞を述べ、

天皇陛下のご健勝と、日本の人々の繁栄と平和を心からお祈りする機会を得ることが出来た。大臣は、今後の

(Continued on page 3)

Message from the Ambassador

Dr. Sayed M. Amin Fatimie



皆様へ

2013年も終わり近づいてきました。この機会に、この重要な年でアフガニスタンがどのような進展を遂げたのか、振り返ってみたいと思います。2013年は、大切な任務を終え、大きく様々な事柄が移り変わった年でした。国内の作業は全ての分野において予定通り進んでいます。また、アフガニスタンの経済、そして発展の上昇と同様に、治安維持向上の目標も確実に良い方向に向かっています。

日本も同様、この年は国内経済の再構成や2020年の東京オリンピック誘致の実現を含め、多くの良い進展がありました。私は、このような社会の動きをこの地で体感することが出来、嬉しく思います。特にオリンピックに関しては、アフガニスタンのアスリート達も、この歴史ある大会に参加することで、両国の関係を更に良い方向へ導いていくことが出来るでしょう。

2014年も日本とアフガニスタン両国にとって、良い年になると確信しています。アフガニスタンでは、大統領選挙を含めた重要な選挙が行われます。同時に、次なる大統領には多くの課題が積もっているでしょう。私たちは、日本の皆さんの暖かいご支援を、昨年同様、今年もお待ちしております。そして両国で協力し合い、アフガニスタンが持つ更なる目標へ達成をしていきたいと感じております。

Dr. Sayed M. Amin Fatimie
Ambassador

継続的な国家協力を保障した。

また、ファティミ大使は、前在アフガニスタン日本大使で、現外務省儀典長の廣木重之氏とも会談した。両外務次官をはじめ、TPP政府対策本部首席交渉官である鶴岡公二外務審議官、岡村義文大使、そして、日本で外交任務に携わっている全ての大使が重要な役割を担っている。

Fawzia Kofiがロミオ・ミネルバ賞を受賞



アフガニスタンの著名な女性議員であるFawzia Kofi氏が、アフガニスタンでの人権と女性の権利向上における貢献が認められ、ロミオ・ミネルバ賞を受賞した。Kofi氏は、この賞は自分だけのものではなく、アフガニスタンの人々全員のものであると述べた。

2014年に57000人の子供たちが高等教育を受ける

アフガニスタンの全高等教育機関が、来年には57000人の新入生を受け入れる予定であることを発表した。

医療クリニックの建設開始

12月9日、Kapisa's Kohbandha地区に位置する医療施設に礎石が建てられた。この施設はフランスと協力し、近日中に建設が開始される。

国内開発プロジェクトの拡大

Baghlan州のTala and Barfak 地方

で、2つの150mに及ぶダムの建設がそれぞれ開始する。このダムの建設により、移民問題の解決を促すと同時に、約750世帯への水供給が可能となる。

2つの新しい橋はNangarhar州に14ヶ月以内に作られる予定である。1つ目の橋は、Jalalabad-Tourkham間の高速道路となり、2つ目はJalalabadに建設される。

QaraQul、輸出増加

商工業省によると、QaraQul貿易は2013年度のみで4%(約150万USD)増加したと発表した。この数字は更に上昇するだろうと予測される。主要輸出国にはアメリカやロシア、ヨーロッパ各国を含んでいる。

絨毯製造のための市、設立へ

首都から30km離れたハラート州の地区で、絨毯の製造に特化した町が設立される。この町には新たに1500世帯が募集される。

Chevrolet アフガニスタンに2店目をオープン

アフガニスタンの経済発達が著しい中、多くの外国企業がアフガニスタンの市場に参入している。アメリカの自動車会社のChevroletはMazar-e-Sharifに2店目をオープンさせ、カブールに続く成功を狙っている。

アフガニスタンIT製品製造、国際社会へ第一歩を踏み

12月初旬、アフガニスタンのIT製品が国際展示会である第19回アゼルバイジャン国際テレコミュニケーション・IT展示会会議で初めて展

示された。アフガニスタンからは9社が参加し、情報通信技術大臣のAmirzai Sangin、アフガニスタン投資事業を行っているAfghanistan Investment Support Agency (AISA)の代表取締役であるWafiullah Iftikharを含め、委任としてこの展示会に同行した。

アフガニスタンの製品は優秀な評価を受け取り、同じくこの展示会に参加していた他の会社と共同開発を行うため、事業に招待された。

この成功により、IT部門の国際展示会をカブール行うことへの投資に興味を示す人が現れることも、近い将来望めるだろう。

Iodized Salt製造会社、開始へ

Iodized Salt製造会社はLogar州で設立され、一日に2トン以上の塩が製造できると期待できる。

国立美術館、第一号館がオープン

第一号館として建設されていた国立美術館が12月初めにオープンした。国内のコレクションの増加だけでなく、国際的に著名な品々も取り揃え、以前よりも大きく、盛大な開催地を各地に建設している。

この開会式には文化・情報省のSayed Makhdoom Raheen大臣をはじめ、様々な国や組織の代表が出席した。